



# ココロセミナー

福岡市  
人権啓発センター

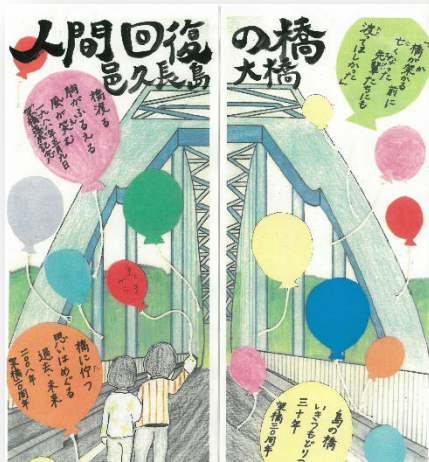
～考えてみませんか？ あなたの人権 わたしの人権～ 【法務省委託事業】

## ご案内

積極的に人権について学び、発信している高校生の声に、  
耳を傾けてみませんか。

### 第2回ココロセミナー【ハンセン病問題】

- テーマ 「わたしたち市民のハンセン病問題 ～高校生からのメッセージ～」
- 日時 平成30年7月21日(土) 14時00分から16時00分
- 講師 盈進 中学高等学校  
 高校3年生 後藤 泉稀 さん  
 教頭先生 延 和聰 さん



ヒューマンライツ部員が作成した  
ハンセン病問題を伝えるパンフレット



邑久長島大橋(人間回復の橋)開通三十周年記念式典当日、  
長年交流のあった金泰九さんの遺影と遺品(マフラー)、  
パンフレットを手にして橋の前に立つ後藤泉稀さん

#### 講師・団体プロフィール

盈進(えいしん)中学高等学校は、広島県福山市にあり、創立114年の歴史ある私立学校。  
ヒューマンライツ(人権)部は、ボランティアと平和と人権に関する調査研究を行うクラブ。「核廃絶！ヒロシマ・中高生による署名キャンペーン」等様々な活動を行っている。生徒たちは、岡山県の長島愛生園を中心に22年にわたって入所者と交流し、ハンセン病問題から「人はどう生きるべきか」「社会はどうあるべきか」について学んできた。

後藤泉稀さんは2013年、盈進中学校に入学し、ヒューマンライツ部に入部。1年生の時、全国中学生人権作文コンテストで、「NOと言える強い心をもつ～ハンセン病問題から学んだこと～」が法務大臣賞を受賞。2015年に作文をもとに、教育映画「こんにちは金泰九(キムテグ)さん～ハンセン病問題から学んだこと」が制作される。2017年外務省「ユース非核特使」としてウィーン国連事務局に派遣され、核兵器廃絶を英語で訴えた。趣味は、広島カープを応援することと全国のハンセン病療養所に行くこと。

延和聰教頭先生は、1964年福岡市生まれ。福岡市立中学校教員であった父の影響で被差別部落の問題、在日コリアンの問題等を肌で感じてきた。1990年、盈進中学高等学校の教員となる。以来ヒューマンライツ部の顧問。1997年、生徒と長島愛生園を訪れ、「手から手へ～ハンセン病療養所の方々との出会い～」を発行。「人間回復裁判」に際し、「ハンセン病に対する差別・偏見をなくす市民ネットワーク広島」を立ち上げ、裁判を支援。ハンセン病問題、平和問題のレポートや論文等多数。2003年『ハンセン病をどう教えるか』(共著/解放出版)発行

- 会場 あいれふ講堂 福岡市中央区舞鶴2丁目5番1号 あいれふ10階
- 受付 120名 ※6月1日から受付開始 先着順受付 定員になり次第締め切り

■申込方法

氏名、住所、電話番号、FAX番号等をご記入の上、はがきか下のFAX申込書にてお申込み下さい。  
ココロンセンターホームページ (http://jinken.city.fukuoka.lg.jp/) からもお申込みできます。  
6月1日以降、ホームページから申込みができるようになります。

■申込及び 問合せ先 〒810-0073 福岡市中央区舞鶴2丁目5番1号 あいれふ8F  
福岡市人権啓発センター「ココロンセミナー」係（遠藤） TEL:092-717-1237 FAX:092-724-5162

「ココロンセミナー」FAX申込書

FAX 092-724-5162

第2回ココロンセミナー

「わたしたち市民のハンセン病問題～高校生からのメッセージ～」に  
申し込みます。

- ※ 受講決定等のご連絡をいたしますので、下記の連絡先を必ずご記入ください。
- ※ ご記入いただいた個人情報については、講座の連絡のみに利用させていただきます。
- ※ 申込受付は6月1日（金）から先着順です。定員となり次第締め切りとします。

ふりがな  
名前

所属（記入できる場合はご記入下さい。）

住所 〒（        -        ）

TEL（        ）        -        FAX（        ）        -

必要な方は、ご記入ください。

- 要約筆記                      ※要約筆記と手話通訳は、筆記者や通訳者の手配等準備が必要ですので、
- 手話通訳                      早めに申し込み下さい。
- 車いす利用者
- その他 配慮して欲しい事項をお書きください。